

■固定資産の問題 1 解説

問 1～問 3

1. 各勘定の前期繰越

(1) 建物 ¥8,000,000 = [資料 I] 固定資産管理台帳より

(2) 建物減価償却累計額 ¥1,800,000

① 耐用年数 20 年の定額法償却率 0.050

② 取得原価 ¥8,000,000 × 前記①0.050 × $\frac{\text{経過 54 か月}(X2.10.1 \sim X7.3.31)}{12 \text{ か月}} = ¥1,800,000$

(3) ソフトウェア ¥1,000,000

① 耐用年数 4 年の定額法償却率 0.250

② 前期末までの償却額 ¥3,000,000 = 取得原価 ¥4,000,000 × 前記①0.250 × 経過 3 年

③ 取得原価 ¥4,000,000 - 前記② ¥3,000,000 = ¥1,000,000

2. 当期の取引における仕訳

(1) X7 年 4 月 1 日 (備品 A の除却)

(借)	備品減価償却累計額	393,750	(貸)	備品	900,000
	固定資産除却損	506,250			

備品 A (除却分) ¥900,000 = 取得原価 ¥2,400,000 × $\frac{3 \text{ 個}}{8 \text{ 個}}$

備品減価償却累計額 ¥393,750

① 耐用年数 8 年の 200%定率法償却率 0.250

② 1 年目 ¥225,000 = 取得原価 ¥900,000 × 前記①0.250

③ 2 年目 ¥168,750 = (取得原価 ¥900,000 - 前記② ¥225,000) × 前記①0.250

④ ② + ③ = ¥393,750

固定資産除却損 ¥506,250 = 備品 A (除却分) ¥900,000 - 備品減価償却累計額 ¥393,750

(2) X7 年 4 月 1 日 (備品 C の購入, 圧縮記帳)

(借)	備品	1,200,000	(貸)	営業外支払手形	1,200,000
	固定資産圧縮損	900,000		備品	900,000

固定資産圧縮損 ¥900,000 = 補助金受取額 ¥900,000

固定資産管理台帳の備品 C の取得原価および帳簿価額 ¥300,000 = ¥1,200,000 - ¥900,000

(3) X7 年 10 月 1 日 (建物の改修)

(借)	建物	1,400,000	(貸)	当座預金	2,000,000
	修繕費	600,000			

建物 (資本的支出) ¥1,400,000 = 改修工事代金 ¥2,000,000 × 70%

修繕費 (収益的支出) ¥600,000 = 改修工事代金 ¥2,000,000 × (1 - 70%)

(4) X8 年 1 月 1 日 (システム B の導入)

(借)	ソフトウェア	5,000,000	(貸)	未払金	5,000,000
-----	--------	-----------	-----	-----	-----------

(4) 'X8年3月31日(システムAの除却)

(借) ソフトウェア償却	750,000	(貸) ソフトウェア	1,000,000
固定資産除却損	250,000		

ソフトウェア ¥1,000,000 = 当期首帳簿残高(前期繰越) ¥1,000,000

ソフトウェア償却 ¥750,000 = 取得原価 ¥4,000,000 × 償却率 0.250 ※ × $\frac{9 \text{ か月}(4/1 \sim 12/31)}{12 \text{ か月}}$

※耐用年数4年の定額法償却率 0.250

固定資産除却損 ¥250,000 = ソフトウェア ¥1,000,000 - ソフトウェア償却 ¥750,000

決算整理仕訳 X8年3月31日(減価償却費の計上)

(借) 減価償却費	1,756,314	(貸) 建物減価償却累計額	470,000
		備品減価償却累計額	686,314
		車両運搬具減価償却累計額	600,000

① 建物減価償却累計額

(イ) 既存

① 耐用年数20年の定額法償却率 0.050

② 取得原価 ¥8,000,000 × 前記①0.050 = ¥400,000

(ロ) 資本的支出

① 耐用年数10年の定額法償却率 0.100

② 取得原価 ¥1,400,000 × 前記①0.100 × $\frac{6 \text{ か月}(10/1 \sim 3/31)}{12 \text{ か月}}$ = ¥70,000

(ハ) (イ) + (ロ) = ¥470,000

② 備品減価償却累計額

(イ) 備品A

① 耐用年数8年の200%定率法償却率 0.250

② 1年目 ¥375,000 = 取得原価 ¥1,500,000 × 前記①0.250

③ 2年目 ¥281,250 = (取得原価 ¥1,500,000 - 前記② ¥375,000) × 前記①0.250

④ 期首減価償却累計額 ¥656,250 = 前記② ¥375,000 + 前記③ ¥281,250

⑤ (取得原価 ¥1,500,000 - 前記④ ¥656,250) × 前記①0.250 = ¥210,937

(円未満切り捨て)

(ロ) 備品B

① 耐用年数6年の200%定率法償却率 0.333

② 1年目(期首減価償却累計額) ¥532,800 = 取得原価 ¥1,600,000 × 前記①0.333

③ (取得原価 ¥1,600,000 - 前記② ¥532,800) × 前記①0.333 = ¥355,377

(円未満切り捨て)

(ハ) 備品C

① 耐用年数5年の200%定率法償却率 0.400

② (取得原価 ¥1,200,000 - 圧縮額 ¥900,000) × 前記①0.400 = ¥120,000

$$(ニ)(イ) + (ロ) + (ハ) = ¥686,314$$

③ 車両運搬具減価償却累計額

$$\text{取得原価} ¥3,000,000 \times \frac{40,000km}{200,000km} = ¥600,000$$

決算整理仕訳 X8年3月31日(ソフトウェア償却)

(借) ソフトウェア償却	312,500	(貸) ソフトウェア	312,500
--------------	---------	------------	---------

$$\text{ソフトウェア償却} ¥312,500 = \text{システムB取得原価} ¥5,000,000 \times \text{償却率} 0.250 \times \frac{3 \text{ か月}(1/1 \sim 3/31)}{12 \text{ か月}}$$

※耐用年数4年の定額法償却率0.250

問4

(借) 繰延税金資産	13,500	(貸) 法人税等調整額	13,500
------------	--------	-------------	--------

繰延税金資産・法人税等調整額

(1) 会計上の減価償却費

① 耐用年数5年の200%定率法償却率0.400

② (取得原価 ¥1,200,000 - 圧縮額 ¥900,000) × 前記①0.400 = ¥120,000

(2) 税法上の減価償却費

① 耐用年数8年の200%定率法償却率0.250

② (取得原価 ¥1,200,000 - 圧縮額 ¥900,000) × 前記①0.250 = ¥75,000

(3) 減価償却費の償却限度超過額 ¥45,000 = 前記(1) ¥120,000 - 前記(2) ¥75,000

(4) 前記(3) ¥45,000 × 法定実効税率30% = ¥13,500